

エストラナ[®]テープを ご使用の方へ

監修

石原 理 先生

女子栄養大学 臨床医学 教授

埼玉医科大学 産婦人科 客員教授



ARTとは

生殖補助医療(ART^{アート})は、卵巣から卵子が排卵され、卵管内で精子と受精し、胚が子宮内に運ばれて着床する前までの過程を、すべて「からだの外」で行うことを可能としました。そして、「卵管性不妊」をはじめとする「不妊症」の治療は画期的に変化しました。1978年に英国でルイズ・ブラウンさんがARTにより生まれてから、これまでに世界中で累計800万人、わが国で70万人以上のこどもたちが、ARTで生まれたと推定されます。

また、受精胚をいったん凍結して保存し、のちに融解して胚移植する方法により妊娠出産することが多くなり、日本ではARTにより妊娠し出生するこどもたちのうち、今では80%以上を占めます。

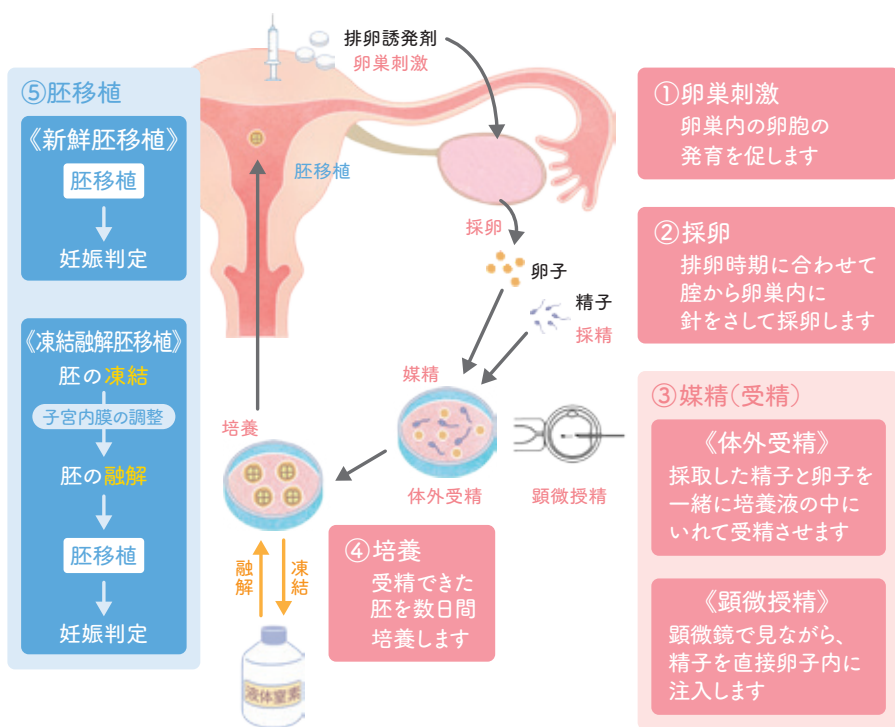
ここでは主に、この凍結融解胚移植のときに用いられるホルモン補充周期のことについて、ご説明いたしましょう。





ARTの流れ

まず、体外受精・胚移植(IVF-ET)や顕微授精(ICSI)などの生殖補助医療を行う際の主な流れを紹介します。





凍結融解胚移植とは

体外受精や顕微授精によって得られた胚(受精卵)を子宮内に戻すことを胚移植といいます。胚移植には、採卵周期に行う『**新鮮胚移植**』と、凍結胚を融解して移植する『**凍結融解胚移植**』があります。



新鮮胚移植

体外受精や顕微授精によって得られた胚を、凍結せずに採卵周期に移植する方法です。胚に凍結や融解の負担をかけないメリットがあります。調節卵巣刺激を行った場合には黄体補充が必要となる場合があります。



凍結融解胚移植

体外受精や顕微授精によって得られた胚を凍結保存し、次の周期以降に融解して移植する方法です。

卵胞発育を観察して排卵後の適切な時期に胚移植する『**自然周期**』と、エストロゲン製剤や黄体ホルモン製剤を用いて胚移植の時期を調整する『**ホルモン補充周期**』があります。新鮮胚移植と比較すると、排卵誘発薬による子宮内膜や黄体への影響を避けられるメリットがあります。



自然周期とホルモン補充周期とは



自然周期

超音波検査や血中ホルモン値の測定により排卵日を特定し、凍結してある胚の融解日と移植日を決定します。

薬剤の投与が不要となるメリットがありますが、排卵日を確定するために卵胞計測の回数が増えることや、排卵が確認できずに胚移植がキャンセルとなる場合があります。また、無排卵の女性や月経周期が不定の女性ではむずかしい方法です。



ホルモン補充周期

月経開始後からエストロゲン(E_2)製剤を用いて子宮内膜を増殖させ、十分な厚みになった時点より黄体ホルモン(P4)製剤を併用します。P4製剤の開始日を排卵日として計算し、凍結してある胚の融解日と移植日を決定します。





ホルモン補充周期で使用する 主な薬剤



エストロゲン製剤

エストロゲンには、子宮内膜の増殖を促し、肥厚させる作用があります。凍結胚移植時に子宮内膜を厚くするために用いられます。

エストロゲン製剤には、貼り薬、飲み薬、塗り薬、注射剤など様々な投与経路の剤型があります。エストラーナ®テープはエストロゲン製剤です。



黄体ホルモン製剤（プロゲステロン製剤）

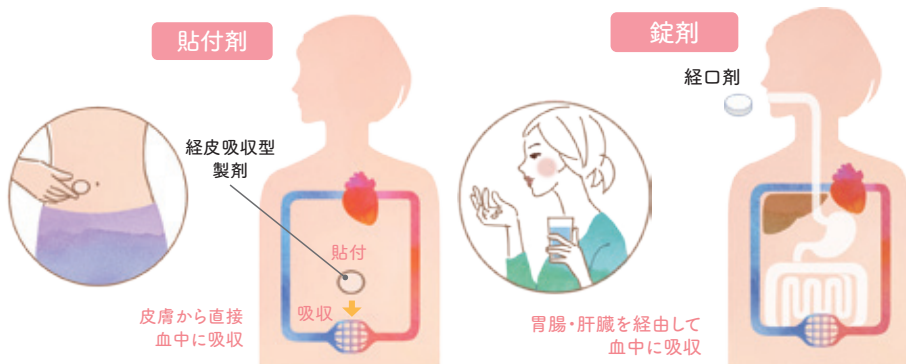
黄体ホルモンには、子宮内膜に胚が着床する準備をさせる作用があります。天然型黄体ホルモン製剤には腔剤、注射剤、ゲル剤があり、合成黄体ホルモン製剤には経口剤があります。





貼るお薬と飲むお薬

エストラーナ®テープは、皮膚に貼って用いる貼付剤です。
皮膚からエストロゲンが吸収され、体内で働きます。

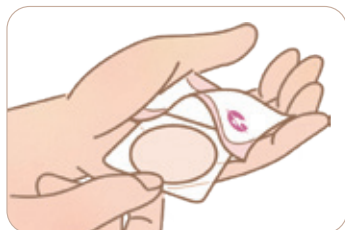


貼付剤のメリットとデメリット

メリット	デメリット
●薬物の成分が胃を通過しないため、胃への影響が少ないとされています。 ●比較的、肝臓への影響が少なく、血中中性脂肪への影響が少ないとされています。 ●貼った薬剤を目で確認できるので、管理しやすい薬剤です。	●貼ったところに、かゆみ、かぶれなどの皮膚症状が出ることがあります。 ※エストラーナ®テープを貼る部位に、保湿剤を塗るなどスキンケアを心がけると、かぶれやかゆみの対策に役立ちます。(12ページをご参照ください。)



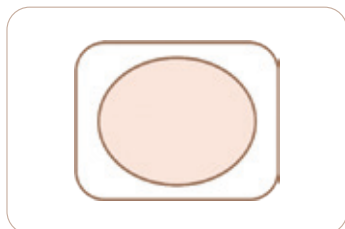
エストラーナ®テープの使い方 ～貼り方～



①お薬を取り出す

切り口より包装袋を開封します。

お薬を取り出すときは開け口を大きく広げ、お薬が包装袋にふれないように二本の指でつまんで取り出してください。



②フィルムからお薬を剥がす

丸いテープがお薬です。

透明なフィルムから剥がして貼ってください。



③体に貼り、押さえる

お薬を**下腹部**または**臀部**（おしり）のいずれかに貼ります。

お薬のフチが浮かないよう手のひら全体でしっかりと押さえてください。

④テープを貼った後は、 手を流水でよく洗ってください。



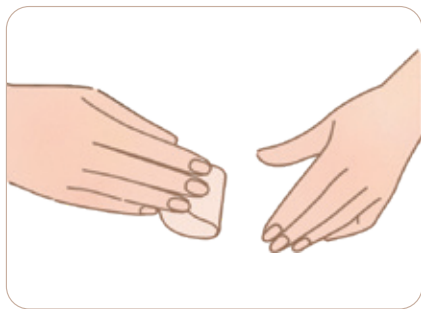
注意

- ベルトなどがあたる場所は避けてください。
- 胸や背中には貼らないでください。
- 傷や湿疹のある場所には貼らないでください。

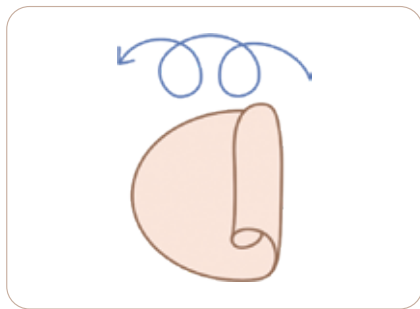


エストラーナ[®]テープの使い方 ～剥がし方～

皮膚を傷つけないために以下の剥がし方があります。



皮膚を押さえながら
ゆっくり剥がしてください。

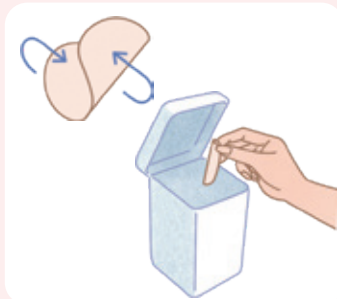


端から丸めながら
ゆっくり剥がしてください。



剥がしにくいときは、無理にひっぱらず、ぬるま湯や水で濡らしたタオルなどをお薬にあて、お薬を湿らせてからゆっくり剥がしてください。

- 使用済みのお薬の捨て方
二つ折りにするなど、
粘着面を内側に貼り合わせ
て捨ててください。



エストラーナ®テープの 使用上の注意

- ① このお薬は2日に1回貼りかえてください。入浴後の汗が引いた後など、時間帯を決めて貼りかえます。
- ② お薬を貼ったまま入浴できますが、上から強く洗ったり、こすったりしないでください。
- ③ 同じ場所に続けて貼ると、かゆみや赤みがでるなど皮膚症状があらわれることがありますので、貼る場所は毎回変更してください。
- ④ 貼り忘れた場合は、気が付いたときに新しいお薬を貼ってください。
その後は2日ごとに貼りかえてください。
- ⑤ 高温になるところを避け、お子さまの手や目の届かないところに保管してください。





エストラーナ®テープ使用中に あらわれることのある症状

エストラーナ®テープ使用中に以下のような症状があらわれることがあります。

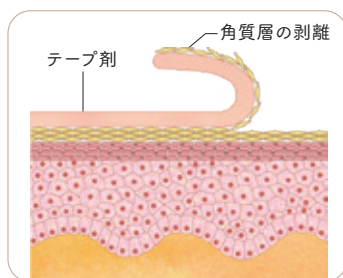
- 貼った場所が赤くなる、かゆくなる
- 膣からの出血
- 胸の張りや痛み
- 外陰部のかゆみ、おりもの
- 下腹部の痛み

気になる症状があらわれた場合は
医師や薬剤師に相談してください。



皮膚のケアについて

皮膚のバリア機能とテープ剤



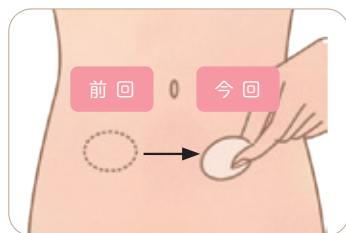
テープ剤を剥がすときに、皮膚の角質層と一緒に1層剥がれます。同じところで続けて何度も角質層が剥がれると皮膚のバリア機能が弱くなり、テープ剤が刺激となることがあります。バリア機能を守ることが、かぶれ対策になります。

出典：塩原哲夫, 大谷道輝 監修：臨床に役立つ経皮吸収型製剤を使いこなすためのQ&A. アルタ出版；2012. p. 16.

かぶれ対策の3つのポイント

① テープ剤を貼りかえるとき、 同じ場所に続けて貼らない

貼るたびに場所をかえると、皮膚のダメージを抑えることができます。



② ゆっくり、やさしく剥がす

端からゆっくり剥がします。



③保湿剤でスキンケアをする

- 皮膚が乾燥すると角質層がひび割れてバリア機能が低下するので、保湿のスキンケアをします。
- 貼る場所を毎回かえるので、貼付部位(下腹部など)の全体に保湿剤を塗ります。
- 保湿剤はテープ剤を貼る1週間前から塗ります。また、乾燥が心配なときは保湿剤を1日数回塗るとよいでしょう。



出典：塩原哲夫, 大谷道輝 監修：臨床に役立つ経皮吸収型製剤を使いこなすためのQ&A.アルタ出版；2012. p. 30-3.

《保湿剤を塗るタイミングについて》

- 貼付する前日の夜に保湿剤を塗ります。
- 乾燥が心配なときは、翌日の朝または昼間に保湿剤を塗ります。
- 夜入浴後に、貼付部位の皮膚を拭い、清潔にしてからにテープ剤を貼付します。
- その後は、貼った部位を避けて保湿剤を塗ります。

かぶれたときの対処法

- ① かぶれたところに、ステロイド外用剤を塗る
- ② かぶれたところに、テープ剤を貼らない
かぶれが治るまで、テープ剤を貼らないようにします

おくすりカレンダー

使い方の説明は裏表紙をご参照ください。

貼付開始時の主治医からの指示

貼付開始日：月経 日目から または / から

貼 付 枚 数：エストラーナ®テープ0.72mg 枚・0.36mg 枚を

月経周期			1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
日付			/	/	/	/	/	/
曜日			()	()	()	()	()	()
エストラーナ®テープ	貼付枚数	0.72mg						
		0.36mg						
	貼付した場所		☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)
併用薬	黄体ホルモン剤							

月経周期			15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目
日付			/	/	/	/	/	/
曜日			()	()	()	()	()	()
エストラーナ®テープ	貼付枚数	0.72mg						
		0.36mg						
	貼付した場所		☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)
併用薬	黄体ホルモン剤							

※使用枚数などは患者さんによって異なります。

必ず医師の指示通りに使用してください。

2日ごとに貼り替え

黄体ホルモン剤の併用についての医師の指示

併用開始日: 日目 または / から

1日の投与量: 1回 を1日 回

7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
/	/	/	/	/	/	/	/
()	()	()	()	()	()	()	()
☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)
☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)

21日目	22日目	23日目	24日目	25日目	26日目	27日目	28日目
/	/	/	/	/	/	/	/
()	()	()	()	()	()	()	()
☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左)
☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 臀部 (右・中・左)

おくすりカレンダーの使い方（カレンダーはこの裏にあります）

① 医師から指示された貼付開始日と枚数を記入します。

貼付開始時の主治医からの指示

貼付開始日：月経 3 日目から または 3 / 13 から

貼付枚数：エストラーナ®テープ0.72mg 4 枚・0.36mg 0 枚を2日ごとに貼り替え

② カレンダーに日付と指示された貼付枚数を記入します。
診療予定日は日付に○をつけましょう。

月経周期		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
日付		3 / 11	3 / 12	3 / 13	3 / 14	3 / 15	3 / 16	3 / 17	3 / 18
曜日		(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
エストラーナ®テープ	貼付枚数	0.72mg		4		4		4	
		0.36mg							
	貼付した場所	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☒ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☒ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)
	併用薬	黄体ホルモン剤							

③ 医師から黄体ホルモン剤の併用を指示された場合に記入します。

黄体ホルモン剤の併用についての医師の指示

併用開始日： 15 日目 または 3 / 25 から

1日の投与量：1回 2錠 を1日 3 回

他に併用を指示されたお薬があった場合は空欄に記載してください。

④ 黄体ホルモン剤などを併用する日にチェックをつけておきましょう。

月経周期		15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	22日目
日付		3 / 25	3 / 26	3 / 27	3 / 28	3 / 29	3 / 30	3 / 31	4 / 1
曜日		(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
エストラーナ®テープ	貼付枚数	0.72mg	5		5		5		5
		0.36mg							
	貼付した場所	☒ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)	☐ 下腹部 (右・中・左) ☐ 臀部 (右・中・左)
	併用薬	黄体ホルモン剤	✓	✓	✓				

エストラーナ®テープは医師の指示に従って使用してください。